

平成 28 年度第 2 回

鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会

日時：平成 29 年 3 月 16 日（木）午後 3 時～

場所：第三学区コミュニティセンター大ホール

《次 第》

1 開 会

2 挨 拶

3 意見交換等

(1) 市のコミュニティ施策について

(2) 事例発表

温海川自治会

会長 忠鉢 孝喜 氏

藤島地区自治振興会

会長 齋藤 建 氏

(3) その他

4 その他

5 閉 会

鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会委員名簿

資料0-0

	氏名	役職	備考
1	鈴木 淳士	鶴岡市町内会連合会副会長兼常務理事	
2	畠山 健	鶴岡市消防団副団長	
3	山木 知也	鶴岡市社会福祉協議会常務理事	
4	小南 孝子	鶴岡市社会教育委員長	
5	清野 康子	鶴岡市生涯学習推進員	
6	阿部 等	(特)公益のふるさと創り鶴岡常務理事	欠席
7	田口 比呂貴	元鶴岡市地域おこし協力隊	欠席
8	林 雅秀	山形大学農学部准教授	
9	武田 真理子	東北公益文科大学教授	委員長
10	松浦 伸	藤島中学校元PTA会長	欠席
11	加藤 欣也	鶴岡まちづくり塾羽黒グループ	
12	鈴木 光秀	産直めぐり取締役	欠席
13	小関 祐二	六十里越街道会議会長	
14	斎藤 優子	あつみ湯けむり女子会会長	
15	石塚 慶	鶴岡市三瀬地区自治会事務局長	
16	齋藤 建	鶴岡市藤島地区自治振興会会長	副委員長
17	忠鉢 孝喜	鶴岡市温海地域自治会長会副会長	
18	長谷川 結	雑誌編集者	欠席

鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会幹事名簿

資料0-1

	所 属	職名	氏 名	備考
1	市民部	部長	佐藤 茂巳	
2	政策企画課	課長	永壽 祥司	欠席
3	地域振興課	課長	佐藤 光治	
4	防災安全課	課長	増田 亨	
5	環境課	課長	東海林 敦	欠席
6	廃棄物対策課	課長	有地 裕之	
7	健康課	課長	原田 真弓	
8	福祉課	課長	齋藤 功	
9	長寿介護課	課長	菅原 繁	欠席
10	農政課	課長	武田 壮一	欠席
11	商工課	課長	阿部 真一	欠席
12	土木課	課長	佐藤 真	代理：荒井滋主査
13	藤島庁舎総務企画課	課長	本間 光夫	
14	羽黒庁舎総務企画課	課長	渡部 功	
15	櫛引庁舎総務企画課	課長	佐藤 浩	
16	朝日庁舎総務企画課	課長	工藤 幸雄	
17	温海庁舎総務企画課	課長	三浦 市樹	
18	消防本部警防課	課長	岡部 満	欠席
19	教育委員会学校教育課	課長	中野 洋	欠席
20	教育委員会社会教育課	課長	本間 明	

事務局

コミュニティ推進課

職 名	氏 名
課長	渡邊 健
課長補佐	佐藤 玲子
主査	佐藤 智子
コミュニティ専門員	加藤 明
専門員	五十嵐 哲夫
専門員	木下 有花
地域コミュニティ支援員	加藤 保

地域庁舎総務企画課

所属職名	氏 名
藤島庁舎総務企画課コミュニティ防災主査	黒井 浩之
羽黒庁舎総務企画課コミュニティ防災主査	成沢 結花
櫛引庁舎総務企画課コミュニティ防災専門員	鈴木 賢
朝日庁舎総務企画課コミュニティ防災専門員	渡部 宏一
温海庁舎総務企画課コミュニティ防災専門員	栗田 甚吉

欠席

市のコミュニティ施策について

1. 平成28年度の取組について

(1) 「鶴岡市地域コミュニティ推進計画」の周知・推進について

平成 28 年 3 月に策定した鶴岡市地域コミュニティ推進計画(以下「推進計画」という。)を市のホームページに掲載するとともに、冊子にして住民自治組織(広域組織・単位組織)へ配付し、地域によっては、地区担当職員が配付・説明を行ったり、住民自治組織対象の研修会等において、推進計画の内容と地域ビジョン策定の必要性、策定方法などについて情報共有を図った。

《各地域の取組状況 資料1-1》

(2) 鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会の開催

◇第1回 9月30日開催

・意見交換

(1) 「地域コミュニティ推進計画」の推進に向けた取組状況について

(2) 地区担当職員、生涯学習推進員の活動について

◇第2回 3月16日開催

(3) 地区担当職員制度の推進

112 地区の広域組織、単位組織に 258 名を配置し、班長を中心に地域の事情に合わせ活動を行っており、地区担当職員が受持ちの地区へ出向き地域の現状や課題把握に努め情報共有を図るとともに、地区担当職員のスキルアップを図るための研修を実施した。

(平成 28 年度活動回数 111 回 H29.3.16 現在)

《各地域の活動状況 資料1-2》

【職員のスキルアップについて】

◇ ファシリテーション研修 5月11日(水)～13日(金)

対象 地区担当職員初任者 68名受講

講師 徳田 太郎 氏(一般社団法人 日本経営協会 専任講師)

◇地区担当職員研修会 12月15日(木)、12月22日(木)

対象 地区担当職員(班長)、市担当職員 56名受講

・事例発表 地区担当職員の活動について

鶴岡地域、藤島地域、羽黒地域、櫛引地域の活動事例について

・講話 「コミュニティ推進計画を活かした地域づくり」

講師 東北公益文科大学 教授 武田 真理子 氏

・ワークショップ

「地区担当職員の役割、班長としてこれからやろうと思うこと」

(4) 広域コミュニティ組織の育成・支援

広域コミュニティ組織は、市内に33組織(鶴岡地域21、藤島地域5、羽黒地域4、朝日地域3)あり、各組織に広域コミュニティ組織運営・地域づくり交付金を交付し、組織運営の支援や地域事情に応じた様々なコミュニティ活動を支援するとともに、各種研修会等の実施及び情報提供を行い、組織の育成及び機能強化に取り組んだ。

また、各地域の広域コミュニティ組織連合組織の会議等に参加し、市からの情報を提供しながら、運営や研修等にも支援を行った。

さらに、コミュニティ支援員が、広域コミュニティ組織へ出向き、地区の状況や組織の運営、活動状況について見聞きしながら、相談活動や情報提供等を行っており、必要に応じて、推進計画をもとに地域づくりに向けた地区での説明会や研修会等の開催に指導、助言を行っている。

(5) 住民自治組織ステップアップ事業による支援

住民自治組織が、地域における問題の解決や課題の達成、若しくは魅力ある環境づくりに向け、新たに取り組む地域づくりを支援しており、今年度から「まち・ひと・しごと創生推進事業枠」として、住民自治組織の地域ビジョン策定を促すとともに、地域課題の解決等の手段として、地域資源を活用したコミュニティビジネスへ向けた取組を支援している。

《資料1-3》

(6) 単位自治組織の維持と負担軽減に向けた支援

世帯数や条件不利地域に配慮した住民自治組織総合交付金を交付し、各自治組織の特色を活かし、地域事情に応じた交付金の活用を促進するとともに、活動拠点の整備については、公民館類似施設整備費補助金による支援や各種補助制度等の情報を提供し、単位自治組織の維持、運営を支援している。

(7) 生涯学習の推進

コミュニティセンター、地域活動センターを拠点として活動する広域コミュニティ組織に広域コミュニティ組織運営・地域づくり交付金を交付し、広域の活動拠点を持たない櫛引地域と温海地域には、公民館類似施設運営・活動費補助金により地域における生涯学習を支援している。

また、コミュニティセンター等を活動拠点に、住民の多様な学習活動や交流活動など事業をまとめた「生涯学習事業記録」を作成・配付するとともに、広域コミュニティ組織等の地域に生涯学習推進員を配置し、運営組織(コミセン等事務局)等と連携を図りながら、地域の状況に合わせた効果的な事業開催に向けた支援をしている。

《生涯学習推進員の取組 資料1-4》

(8) 各種研修等の実施について

① 住民自治組織代表者研修会(7月22日開催)

- ・地域コミュニティ推進計画の説明…市民部コミュニティ推進課
- ・事例発表
「住みよいまちづくり藤島プロジェクトについて」
藤島地区自治振興会 会長 齋藤 建 氏
- ・講演
「地域ビジョンをどう描くか」
講師 東北公益文科大学 教授 武田 真理子 氏

② 住民自治組織合同研修会「つるおかみらいフォーラム」(10月18日開催)

- ・事例発表
「世代継承を進めるために」
淀川町町内会 会長 高橋 憲志 氏
「鶴岡市手向地区自治振興会のあゆみ」
手向地区自治振興会 会長 勝木 正人 氏
- ・講話
「住民主体によるまちづくり ～地域の魅力、再発見！～」
講師 北海道教育大学 教授 廣瀬 隆人 氏

③ 住民自治組織代表者会議 (2月15日開催)

- ・事例発表…ステップアップ事業を活用した取組について紹介
「温海川集落誌の調査、発行について」 温海川自治会 会長 忠鉢 孝喜 氏
「鈴カラ竹利用促進事業について」 鈴自治会 会長 佐藤 静夫 氏
- ・意見交換 住民自治組織の負担軽減について

2. 平成 29 年度の取組について

「鶴岡市地域コミュニティ推進計画」について、引き続き周知に努めるとともに、推進計画に基づく地域主体の地域づくりに向けた取組の支援を行い、地域コミュニティの維持、活性化を図る。

(1) 鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会の開催

[委員構成] 18名(予定)

[任期]平成 29 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

[開催回数] 年 2 回 (予定)

[内容]

地域コミュニティ推進計画に基づく各地域での取組や市の支援策についての検討、意見聴取を行う。必要に応じて関係各課で構成する幹事会を開催し、関係施策の検討を行う。

(2) 地区担当職員制度の推進

地域と行政とのパイプ役として、地域住民と共に現状や課題把握に努め、地域の状況に応じて行政が持つ情報やノウハウを活かしながら、地域住民の主体的な地域づくりを支援する。

[取組内容]

- ①地域づくり懇談会の開催
- ②地区ごとのワークショップや研修会の開催
- ③地区実態把握のための調査、アンケート等の実施
- ④地域ビジョン策定へ向けた支援

(3) 広域コミュニティ組織の育成・支援

広域コミュニティ組織運営・地域づくり交付金を交付し、組織運営と活動を支援するとともに、コミュニティ支援員が必要に応じ、広域コミュニティ組織の運営や活動へ助言等を行い、組織の育成と支援を行う。

[取組内容]

- ①地区実態調査と地区との話合い
- ②地域ビジョン策定や地域づくりに向けた取組支援
- ③コミュニティビジネスの取組に向けた検討
- ④地域の子どもたちと未来を考えるワークショップの開催【新規】

(4) 住民自治組織ステップアップ事業による支援

単位自治組織や広域コミュニティ組織が地域の特色に応じた事業や地域の課題を解決するために取り組む新たな事業を支援する。

【まち・ひと・しごと創生推進事業枠】

- ①地域ビジョンを策定のうえ、ビジョンに基づき取り組む事業
- ②地域資源を活かしたコミュニティビジネスへの取組
- ③地域の青年・女性対象ワークショップ開催と事業への取組【新規】

(5) 単位自治組織の負担軽減に向けた支援

住民自治組織総合交付金や公民館類似施設整備費補助金を交付し、単位自治組織の維持・運営を支援する。

また、地域課題に即したテーマを設定した研修会を開催し、事例発表や情報交換により地域の課題解決に繋げる。

(6) 生涯学習の推進

住民ニーズに応じた生涯学習事業を推進し、住民の学習活動を地域課題の解決に活かし、地域づくりに繋いでいくため、広域コミュニティ組織には、広域コミュニティ組織運営・地域づくり交付金を、広域の拠点施設を持たない櫛引・温海地域には公民館類似施設運営・活動補助金を交付する。

また、生涯学習推進員を広域コミュニティ組織等の地域に配置し、住民自治組織等との連携を図りながら、地域の多様な住民ニーズの把握や情報収集を行い、地域の状況に合わせた効果的な事業展開を図るとともに、生涯学習推進員を対象とした事例発表やワークショップなどの研修会を開催し活動を支援する。

(7) 住民自治組織代表者会議

全市の住民自治組織の代表者が一堂に会し、地域の課題を共有し課題解決に向けた意見交換や行政施策の説明等を行う。

(8) 各種研修事業

①住民自治組織合同研修会

[対象]住民自治組織代表者、コミュニティセンター・地域活動センター関係者、自治公民館関係者、一般市民

[内容(案)]

住民自治組織ステップアップ事業の事例発表を参考にしながら情報交換を行い、それぞれの地域の課題解決や活性化を図る。

②住民自治組織課題別研修会

[対象]住民自治組織代表者、コミセン・地域活動センター関係者

[内容(案)]

人口減少に伴う地域課題に即したテーマを設定し、課題解決に向けて事例発表や情報交換を行う。

○鶴岡市地域コミュニティ推進計画(以下「推進計画」)の推進に向けた取組状況について

平成29年3月16日現在

資料1-1

地域	鶴岡	藤島	羽黒	楡引	朝日	温海
コミュニティ推進計画の周知について	<ul style="list-style-type: none"> ・推進計画を住民自治組織(広域・単位組織)へ配付した。 ・広域コミュニティ組織の役員を対象に推進計画について説明を行った。(コミュニティ組織協議会理事会、自治振興会連絡協議会会長・事務局長会議) ・地区の住民を対象に推進計画の説明を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・推進計画を住民自治組織(広域・単位組織)へ配付した。 ・広域コミュニティ組織の役員を対象に推進計画について説明を行った。 ・藤島地域町内会長会において推進計画の説明を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・推進計画を住民自治組織(広域・単位自治組)へ配布した。 ・広域コミュニティ組織会長及び事務局を対象に推進計画について説明を行った。 ・地域づくり懇談会のテーマとして想定していることを班長(地区担当職員)、自治振興会へ説明を行った。 ・区長・自治振興会長会議において地域ビジョンについて説明を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・推進計画を住民自治組織(21地区)へ配布した。 ・地区担当職員の班長へコミュニティ推進計画を配布した。 ・区長会役員会や区長会で推進計画について説明を行った。 ・地域づくり懇談会のテーマのひとつとして地区民に説明を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・推進計画を住民自治組織(広域・単位組織)へ配付した。 ・朝日地域自治会連絡協議会及び朝日地域自治振興会連絡協議会の役員を対象に推進計画について説明を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・推進計画を全自治会長へ配付した。 ・自治会長会議において、会長を対象に推進計画の概要について説明を行った。 ・集落懇談会において概要説明を行った。
地域ビジョン策定に向けた住民自治組織の取組について	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ビジョン策定に向けた取組を始めた地域がある。 ・住民アンケートの実施(大山) ・ビジョン策定に向けた研修会の開催(六学区) 	<ul style="list-style-type: none"> ・藤島地区では26年度から28年度にかけて住民アンケート、ワークショップや視察研修を行ない、第1次地域づくり5ヶ年計画(地域ビジョン)をまとめることができた。(29年1月8日に発表会を開催) ・地域づくりについての研修会を開催し、地域ビジョン策定に向けて意識を高めた。(東栄) 	<ul style="list-style-type: none"> ・広域コミュニティ連合組織総会にコミュニティ支援員を招き、地域コミュニティ・コミュニティ推進計画・ビジョン等について研修会を実施した。 ・羽黒区長会において、秋田県由利本荘市赤田地域で、地域コミュニティの活性化に向けた取り組みを学ぶため視察研修を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区長会役員会、区長会全体会、地域づくり懇談会で周知しているが、まだ具体的な動きはない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「小さな拠点」づくりをきっかけに、地域を見直す取組が始まった。(朝日東部) 	<ul style="list-style-type: none"> ・過疎地域集落対策事業を実施した10集落においては、集落振興ビジョンを策定済み。(暮坪、安土、木野俣、楨代、小名部、山五十川、鍋倉、関川、小国、峠ノ山) ・独自に集落振興ビジョンづくりに取り組んだ集落もある。(越沢)
課題解決等に向けた地域の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・第一学区安心安全の絆づくり推進会議において、市の防災の取組と地域の連携についての研修や災害を想定したワークショップを実施(一学区) ・組織の再編検討(二学区) ・お互いさまネットワークの取組による問題について担当課と協議(第三学区) ・クロスロードゲームを通じ、様々な意見や価値観を参加者同士が共有。(上郷) 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通空白地帯の解消に向けて方策を検討している。(長沼) ・地区防災計画策定について検討を進める中で、自治振興会として初となる防災訓練を実施した。(東栄) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主財源獲得のため、資源ごみ回収の実施。(手向) ・地区を5ブロックに分けた防災訓練を毎年順次の実施。(泉) ・赤川洪水ハザードマップ作成にあたり、各集落役員と災害予想等について意見交換会実施。(広瀬) ・「地区のいいところ」というテーマで話し合いを開催(羽黒第四) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区(区長)からの相談は総務企画課職員が対応し、担当部署につないでいる。 ・防災対策をテーマとし「地域づくりを考える研修会」を開催し、今後の自主防災をはじめとするコミュニティ運営を考える一助とした。 ・複数の地区で自主防の組織再編や規約の見直しなどに着手している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「小さな拠点」づくり検討委員会の設置(朝日東部) ・朝日地域自治振興会連絡協議会の研修会を朝日地域地区担当職員研修会と共催し、コミュニティ活動の事例発表を行い、情報共有した。また、コミュニティ活動の課題解決のヒントを得るため、講師招聘を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区担当職員制度により、各集落で集落活性化懇談会を開催し、課題解決に向けた話し合いを進めている。 ・その中から、ステップアップ事業を活用した取り組みも行われている。
コミュニティ活動の支援について	<ul style="list-style-type: none"> ・各種コミュニティ活動に関連する助成制度や鶴岡地域の活用事例について一覧にまとめ、各コミセンへ周知している。 ・広域コミュニティ連合組織の会議等で市のコミュニティ支援(研修会への講師派遣や市の助成制度等)について説明。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会長連絡協議会に助成し、各種コミュニティ活動や研修会の開催を支援している。(広域コミュニティ組織関係者も参加) 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種コミュニティ活動に関連する助成制度等について、住民自治組織(広域・単位自治)に周知している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種コミュニティ活動に関連する助成制度の情報提供と、相談があった自治会への対応を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝日地域自治振興会連絡協議会の会議で市の支援(研修会への講師派遣や市の助成制度等)について説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種コミュニティ活動に関連する助成制度について一覧にまとめ、自治会長会議で情報提供している。 ・過疎地域集落対策事業実施集落については、集落支援員を配置し事業推進の支援を行っている。

○地区担当職員の活動状況について

平成29年3月16日現在

資料1-2

地域	鶴岡地域	藤島地域	羽黒地域	楡引地域	朝日地域	温海地域
配置地区と人数	広域コミュニティ単位 21地区 69名 *この他、コミュニティ推進課 職員も各地区に配置	広域コミュニティ単位 5地区 30名	広域コミュニティ単位 4地区 25人	単位自治組織 21地区 40名	広域コミュニティ単位 単位自治組織 38地区 45名	単位自治組織 23地区 49名
活動回数	13地区 延べ33回	5地区 延べ19回	4地区 延べ 9回	21地区 延べ21回	8地区 延べ 12回	22集落 延べ17回
活動状況概要	<p>(地区単位の活動内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全安心の絆づくり推進会議や研修会のワークショップに参加。(一学区) ・町内会ビジョン策定会議に出席。(大山) ・地域づくり懇談会に出席し、地域の実情把握に努めた。(小堅、上郷) ・市長と語る会への出席。(上郷) ・コミセンで行われた推進計画の説明に同席し、計画の内容把握に努めた。(六学区、湯野浜) ・地域の課題と進捗状況の聞き取り。(加茂) ・地域づくり研修会に参加(六学区) <p>その他、地区役員会等への出席と市からの情報提供、地区で実施する事業への参加、地区役員・職員との打合せを行った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自治振興会理事会や役員会に出席し、コミュニティ推進計画の説明と課題の把握に努めている。 ・出された課題や要望等は、担当課に照会し、対応を依頼している。 <p>〈地区単位の活動内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップと視察研修に参加し、地域ビジョン(地域づくり五カ年計画)を一緒になってまとめた。(藤島) ・自治振興会として情報伝達・避難所開設訓練を実施し、地区防災計画策定について検討を進めた。(東栄) ・町内会三役研修において地域づくりと住民自治組織における課題解決のポイントについて学んだ。(東栄) ・赤川洪水ハザードマップ作成意見交換会に出席し、地区住民と一緒にマップを作成した。(渡前) 	<ul style="list-style-type: none"> ・各自治振興会評議員会出席 ・自治振興会の自主性を育てるため、会議の持ち方・テーマ・日程等を自治振興会主導で実施してもらうようにした。 ・羽黒第四地区…「いいところさがし」と題して、各集落の魅力について話し合いをした。 ・手向地区…「手向賑わいまちづくり座談会・研修会反省」に参加し、富山市、金沢市を視察した結果報告と手向地区で活かせることは何か等について、話し合いを実施した。 ・広瀬地区…成人講座「ですかセミナー」に参加し、「地域づくりについての健康づくり出前講座」「地域コミュニティの防犯対策」の講話をお聞きした。 <p>赤川洪水ハザードマップ作成にあたり、各集落ごとの意見交換会に参加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泉地区…3月に「地域防災」をテーマに研修会を実施する予定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区長会で『地域づくり懇談会』の開催について提案し、5つの設定テーマから選択できるように提示した。 1.「集落防災の現状と課題」(赤川ハザードマップによる危機管理等の説明を中心として実施) 2.「コミュニティ推進計画について」(地区の5年後を考える) 3.「地元を知ろう！」(郷土愛を育む) 4.「他の地区を知ろう！」(地区運営のヒントを得る) 5.「鶴岡市の主要事業を知ろう！」(文化会館・マイナンバー制度・食文化・各種補助金など概要をお知らせ) <p>・テーマ、1・2での地域づくり懇談会の実施が多数。他に5で文化会館、マイナンバー制度、移住・定住についての説明を行なっている。</p> <p>・地区から出された要望・意見には、懇談会時や後日、関係課にも相談し、回答や現場調査を行うなど丁寧に対応している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区で開催される住民懇談会に出席し、地区の状況を把握した。 ・「小さな拠点」づくり検討委員会(朝日東部)に出席し、課題解決の検討に参加し、「地域デザイン」策定を支援した。 ・スノーランド実行委員会(朝日南部)に出席し、事業実施要項策定に参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・班長会議を開催して班長に推進計画を配布し、集落活性化懇談会での話し合いのテーマとするよう説明した。 <p>(地区単位の活動内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区担当職員が集落活性化懇談会に出席し、地域の実情把握と情報提供を行った。 ・集落活性化事業の振り返りと今後の活動について ・集落の共同作業・高齢者が安心して暮らせる集落とは ・自治会運営と自治会費の負担について ・地元資源の有効活用について ・空き家対策について ・集落の防災対策について ・今後の地域、閉校校舎の活用、子供たちと地域の関わり方 ・高速道路計画について

地域	鶴岡地域	藤島地域	羽黒地域	楡引地域	朝日地域	温海地域
各庁舎単位での会議、研修等の開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・班長会議を2回開催。 ①5月18日(水)班長が地区ごとに推進計画を配布しながら、今年度の活動について地域と打合せをすることを確認。 ②10月18日(金)各担当地区の活動状況と課題について情報交換を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ※各課長・室長・局長が班長となっていることから、定例課長会議において打ち合わせ等を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「赤川洪水ハザードマップ」意見交換会について担当職員に研修会を開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・設定テーマの1『赤川洪水ハザードマップ』、2『コミュニティ推進計画』についての職員向け学習会を開催 ・まとめの班長会2/16開催。 ・地域づくりを考える研修会2/20開催。 (東日本大震災から学ぶ～被災直後の行政・コミュニティ運営の課題) 	<ul style="list-style-type: none"> ・広域コミュニティ組織の会議等へ出席し、地域の状況、課題把握に努めるとともに、「地域ビジョン策定」に向けた取組を支援する。 ・朝日地域地区担当職員研修会を広域コミュニティ組織と共催で実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5月20日班長会議
成果と課題	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動により地区の状況把握ができた。 ・班長が地区の会長や事務局長へ出向き、今後、地域課題への取組へ地区担当職員がどう関わるか筋道をつけることができた。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区ごとに活動のバラツキがある。(地区で地区担当職員制度の理解が得られないことも原因のひとつ。) ・学校の統廃合に関わる地域では、統合後の跡地利用などの検討があるが、地区担当職員として入り方が難しい。 	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップと視察研修を実施し、住民と一緒に地区ビジョン(地域づくり計画)を策定し、29/1/8に発表会を開催した。 ・各自治振興会、町内会役員に対してコミュニティ推進計画概要版の説明を終えることができたので、来年度以降の話合いのベースとなることが期待できる。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治振興会の会議等には参加しているが、課題抽出や具体的な取り組みに向けた話し合いには至っていない地区がある。 ・自治振興会役員の地域ビジョン策定に向けた意識の差が大きく、地区により進捗の差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治振興会主導の研修会等が開催できた。 ・第四地区の「いいところさがし」は、住んでいるところの再確認ができ、前向きな話し合いになって良かった。 ・班長への働きかけや、班長と自治振興会との事前打ち合わせが重要である。 ・地域ビジョン策定に向けた働きかけを行ってきたが、具体的な話し合いに及んだのは1地区のみで、他地区においてはビジョンの概要・背景を説明する程度にとどまり、地域住民によるワークショップ等具体的な取り組みの推進は今後の課題となった。 ・自治振興会が立ち上がって日も浅いこともあり、各地区での最大の課題・関心事は、防災体制・組織づくりとなっており、テーマ設定も地域ビジョンより防災に向かう傾向がある。 	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動により、各地区の状況把握が出来た。 ・地区担当職員の任期は、3年になっているが、継続して地区と関わることで地区との関係性が深くなり、関係課との調整・相談等パイプ役としての役割を果たしている。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動が集落単位のため、班長の範囲を主査まで広げることが、職員数が減っており、総務企画課職員と班長は、複数地区を担当しなければならない。 ・地域づくり懇談会を開催しているが、地域の主体的な課題解決への取組に至っていない。 ・地区によって懇談会の考え方に差があり、市側が説明し、地区民が聞き手という一方的な会になってしまう地区もある。 	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動により地区の状況把握ができた。 ・地区の課題解決への取組に協力するができた。 ・事業実施への取組みに協力することができた。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区ごとに活動のバラツキがある。(地区で地区担当職員制度の理解が得られないことが原因) 	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動により地区の状況把握ができ、また、集落が必要とされる情報の提供ができた。 ・ステップアップ事業を活用した具体的な事業活動ができた。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年集落活性化懇談会を開催しているが、地元の意向により開催しない集落もある。 ・地域庁舎の職員数が減少しており、班長担当職員を主査まで広げることが、一人で3～4集落担当しなければならない。

地域	鶴岡地域	藤島地域	羽黒地域	楡引地域	朝日地域	温海地域
今後の活動の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで同様、班長が地区へ出向き、地域の現状や課題等の把握に努め、地区担当職員と一緒に取り組めるものがないかアプローチする。 ・班長会議を開催し、各々の活動や地域の状況について情報共有し、住民自治組織への支援のあり方について検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ビジョンの策定に向けて地区役員と話し合いを進める。 ・29年度に渡前地区において藤島地域総合防災訓練が予定されているので、自治振興会として情報伝達・避難所開設訓練を実施し、地区防災計画策定について検討を進める。(渡前) ・新年度から長沼地区と八栄島地区ではデマンドタクシー運行について詳細な調査を実施し、自治振興会と一体となって運行可能性を探る。 	<ul style="list-style-type: none"> 各地区の自主性を育てるため、各振興会にテーマ設定、会議設定等依頼したが、結果、地区担当職員としての活動は低調な結果にとどまったところであり、まだまだ行政が主導(班長による声掛けの繰り返し等)していかないと、地区担当職員制度の浸透・定着は難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当地区の概要(特徴的な事項や主要行事)を把握する。 ・担当地区の課題と将来ビジョンについて地区民と共有する。 ・他地区の活動状況を把握し、地区へ紹介できるようなコミュニティの活性化や集落振興の活動事例を把握する。 ・地区担当職員の情報共有を図る。 ・懇談会時には、地区担当職員がうまく手助けし、できるだけ多くの参加者の声を聞くことができるように誘導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援者としてのファシリテーションや課題整理の仕方などの技法(手法)の学び ・情報交換により、他地区の活動状況を把握し、自らの地区の活動の参考にする。 ・地区の現状や課題を把握する取り組みが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集落課題に対する取り組みの継続。 ・班体制を整理し、班長に過大な負担が掛からないようにする。
平成29年度の体制について(課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで同様に21地区に同じ人数を配置 ・班長以外の職員は、原則、地区指定職員(災害時)と兼務とするが、業務等の関係から兼務できない場合は別の職員を配置する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎において年度当初に地区担当職員に向けた研修会を開催する。 ・各地区ごとに具体的な目標と行動計画を設定し、進捗状況を班長会議で情報交換する。 ・災害時地区指定職員が地区担当職員となる体制は継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> 機構改革によっては、班長担当職員を課長補佐級に依頼する可能性あり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度同様。21地区に班員を3名配置し、うち1名班長とする。 ・班長も同様に主査までと考えているが、新年度の状況を見て判断する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎職員の減員が想定されている。現在、45名としているが、庁舎職員数が45名を切る可能性があり、体制の見直しが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域庁舎の職員数が減少しており、班長担当職員を主査まで広げたが、一人で3~4集落担当しなければならない。⇒グループ化を検討
平成29年度の取組等	<ul style="list-style-type: none"> ・地区担当職員の活動を推進するためのガイドラインの作成。 ・地域カルテの作成(地区の現状や取組を把握し、地域と地区担当職員が情報共有する) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ビジョン策定の先行事例をもとに各自治振興会長と今後の進め方についての話し合いを進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各課長・室長が班長となっていることから、定例課長会議において打ち合わせ等を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に懇談会の持ち方、テーマ等、方向性を確認する会議等を開催する。 ・「地域コミュニティ活動事例集」最新版の発刊等、ステップアップ補助金を受けて活動した成果等を先進事例として地区民に紹介できるように情報提供して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・班員のスキルアップのため、全市または、庁舎単位のいずれかでよいので、研修・視察等の企画を協議したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ビジョン策定⇒その先の実践活動への支援

平成29年度住民自治組織ステップアップ事業(案)

資料1-3

住民自治組織自らが、地域における課題の解決や魅力ある地域づくりに向けて、新たに取り組む事業に対して支援する。

○補助内容

(1)応募できる団体

- ①自治会、町内会等の単位自治組織
- ②自治振興会等の広域コミュニティ組織
- ③上記の連合組織

(2)募集する事業

- ①安全、安心に暮らせる地域づくりに取り組む事業
- ②明るく活力のある地域にするための事業
- ③その他、地域づくりに特に必要と認められる事業
- ④まち・ひと・しごと創生推進事業【レベルアップ→(7)】

(3)補助対象経費

- ①補助対象経費 事業の実施に直接必要となる経費
- ②補助対象外経費
 - ・報酬、賃金等の人件費、食糧費(作業時のお茶代等を除く)、工事費、修繕料、備品購入費、その他事業の目的に適さない経費
 - ・国、県または市の他の補助事業の対象となる経費

(4)補助率等

	単位自治組織	広域コミュニティ組織・連合組織
補助金額 上限額	1回あたり100千円 複数回は計200千円	1回あたり200千円 複数回は計500千円
補助率	補助対象経費の合計額の3分の2以内(事業の実施に必要な先進地視察研修の旅費にかかる経費は2分の1以内)の額	
交付回数	同一事業での交付は、年1回、合計3回を限度	

- (5)採択実績 平成26年度 17件 (補助金額 1,428千円)
 平成27年度 21件 (補助金額 1,904千円)
 平成28年度 22件 (補助金額 1,963千円)
 ※うち平成28年度コミュニティビジネス枠による採択1件

- (6)平成29年度予算額(案) 250万円(平成28年度同額)

(7)まち・ひと・しごと創生推進事業について【まち・ひと・しごと枠】

【募集する事業】

①地域ビジョンを策定のうえ、ビジョンに基づき取り組む事業

地区の将来を目指す姿と実現に向けた具体的取組を定める地域ビジョンを策定し、そのビジョンに基づく具体的取組

②地域資源を活かしたコミュニティビジネスへの取組

地域の課題解決に向けた地域の資源、人材を活かしたコミュニティビジネス実践やその準備等

③地域の青年・女性対象ワークショップ開催と事業への取組【新規】

地域の青年部等の組織育成や、次代を担う若者や女性の意見を聞くワークショップ等の開催、ならびにその中から出された意見を反映した事業

	①ビジョンに基づく事業 ②コミュニティビジネス	③青年・女性ワークショップ事業
補助金額・ 上限・ 補助率等	他の事業と同じ	
補助対象 経費の特例	・事業に必要不可欠と判断される備品購入費も対象とする。	・事業に必要不可欠と判断される備品購入費も対象とする。 ・食糧費1,000円/人まで対象とする。

(8)募集期間及び周知方法 ※予定

*募集期間

第1回:平成29年4月3日(月)～平成29年4月19日(水)

第2回:平成29年4月20日(木)～平成29年5月19日(金)

※事業期間は第1回を平成29年5月～平成30年3月、

第2回を平成29年6月～平成30年3月に想定しています。

※採択状況により、第3回目追加募集も想定しています。

(28年度 10月募集、11月下旬審査会(書類審査))

*3月末、住民自治組織代表者に郵送し周知する。

これまでの採択事例

◇学区内の組織改革プロジェクト(第6学区コミュニティ協議会)

H27・28

先進事例を学びながら、役員の負担軽減や効果的な事業運営等を目指し、学区内の様々な団体をつなぐネットワーク(団体)にまとめる。

◇お互いが支え合って生きる「共生」のまちづくり(新海町町内会)

H27・28

近隣同士の安全・安心な支え合いのまちづくりに向けて、町民の意識改革と、町内会の運営体制、隣組の再編を図る。

◇除雪ボラパーマン事業(大塚町町内会)

H26

町内の除雪ボランティアを募集し、効率的な班体制を組み立て、高齢者宅の除雪作業を行う。

◇婚活パーティー「鶴岡じよなめるコン」(鶴岡市自治振興会連絡協議会)

H26～28

市自治振興会連絡協議会の15地区連携のもと婚活事業を開催し、鶴岡地域の郊外地を中心に少子化・晩婚化対策に取り組む。また、本事業を通じて、婚活事業開催におけるノウハウを各地域で共有し、各地区の事業活動に活かす。

◇淀川町ふれあい元気サークル育成・支援事業(淀川町町内会)

H26・27

特技を持つ町内の住民を指導者に、様々なテーマで、気軽に参加できるイベントを企画、開催し、新たな人材を取り組みながら、住民の交流を促進する。

≪平成28年度採択事例≫

★孟宗・梅加工を通じて地域の活性化を図る事業
(湯田川地区自治振興会)【コミュニティビジネス枠】

地区内から募集した人たちで、特産の梅、孟宗の加工、販売に向けた取組と、あわせて竹林、梅林等の管理、保全を行う。

★住みよいまちづくり藤島プロジェクト(藤島地区自治振興会)
ワークショップ等を通じて地区の課題やあるべき姿をまとめ、
藤島地区地域ビジョン策定を行う。

★鈴カラ竹利用促進事業(鈴自治会)

特産であるカラ竹を食べるだけでなく、竹細工として利用したり販売できるよう、研修会を実施する。

★日まわり応援事業(湯野浜二町内会)

高齢者宅等のごみ出しや草刈り等日常生活の支援を行う。

年度別交付決定状況

年度	件数	金額	うちビジネス枠	
26年度	17	1,389,000		
27年度	※20	1,760,000		
28年度	22	1,963,000	1	170,000
計	59	5,112,000	1	170,000

※交付決定後の事業中止1件(27年度)

地域づくりに繋がる生涯学習の推進

資料 1-4

生涯学習推進員175名 活動回数1,383回（活動回数は、概ね半日単位の活動を1回とした延べ回数） 平成29年1月末現在

区分	鶴岡	藤島	羽黒	楡引	朝日	温海	合計
配置地区数	広域コミュニティ単位 21	広域コミュニティ単位 5	広域コミュニティ単位 4	楡引 公民館 1	広域コミュニティ単位 3	温海ふれあいセンター、 地区自治会 5	39
人数 (人)	86	26	20	11	16	16	175
活動回数 (回)	447	180	448	92	108	108	1,383

☆平成28年度の主な活動内容

鶴岡地域

- ・各種講座の企画立案、運営(加茂名所歩きを楽しむ会講座・加茂、鶴南大学講座・第1 等)
- ・少年教室、子ども教室、勉強会等の企画立案、運営(高館山少年教室・大山、チビッ子広場・第3 等)
- ・地域イベントへの企画立案、運営(夏祭り 等)
- ・文化祭、作品展等の企画立案、準備等(コミセン福祉まつり・第6、書き初め展・第4 等)
- ・スポーツイベントへの企画立案、運営(地区運動会、軽スポーツ大会 等)
- ・地域づくり活動の企画立案、運営(住民のつどい・上郷、むらづくりのつどい・黄金 等)

藤島地域

- ・各種講座の企画立案、運営(地域学習講座・東栄、男の料理教室・八栄島、成人講座・長沼・渡前、総合研修会・渡前、郷土史セミナー・渡前 等)
- ・少年教室、子ども教室、勉強会等の企画立案、運営(ふじっ子まつり・藤島、アソベンチャークラブ・東栄、わらしっこ楽園・中学生事業・八栄島、わんぱく広場・長沼、ドリームランド・渡前 等)
- ・地域イベントへの企画立案、運営(さなぶり祭り・藤島、高校生との音楽交流会・長沼、渡前地区地ふぶき祭り 等)
- ・文化祭、作品展等の企画立案、準備等(センターフェスタ・藤島、東栄芸術祭あさひ博、活セン祭り・八栄島、芸術文化祭・長沼・渡前、等)
- ・スポーツイベントへの企画立案、運営(グラウンドゴルフ大会・東栄・八栄島・渡前、球技大会・東栄、軽スポーツ大会・東栄・長沼、ソフトボール大会・渡前、ウォーキング教室・渡前、冬季レクリエーション大会・東栄・八栄島、市民運動会 等)
- ・地域づくり活動の企画立案、運営(地域づくり懇談会・藤島、ふるさとの川愛護活動支援事業・渡前)

羽黒地域

- ・各種講座の企画立案、運営（DIY教室、男の料理教室、生きがい講座 等）
- ・少年教室、子ども教室、勉強会等の企画立案、運営（親子de探検隊、こだま秋の家 等）
- ・地域イベントへの企画立案、運営（山のつどい、川で遊ぼう 等）
- ・文化祭、作品展等の企画立案、準備等(各地区文化祭 等)
- ・スポーツイベントへの企画立案、運営(学区運動会、親睦球技大会、泉地区体育大会、ナイターバレー 等)
- ・地域づくり活動の企画立案、運営（青少年の現状を語る会 等）

櫛引地域

- ・生涯学習講座の企画立案、運営（生涯学習推進員会議、趣味の講座運営）
- ・文化祭の出品呼びかけ、展示準備協力
- ・櫛引地域生涯学習推進員研修会の実施
- ・各種研修会への参加（櫛引地域子ども育成合同研修会等）

朝日地域

- ・各種講座の企画立案、運営（生涯学習推進員会議 等）
- ・少年教室、子ども教室、勉強会等の企画立案、運営（ジュニアキャンプ）
- ・地域イベントへの企画立案、運営（産業文化まつり、芸能文化まつり、敬老会、大鳥川フェスタ、スノーランド 等）
- ・スポーツイベントへの企画立案、運営
(軽スポーツ大会、グラウンドゴルフ大会、地区運動会、冬季運動会、ナイターバレーボール大会 等)
- ・地域づくり活動の企画立案、運営(かたくりの子四つの運動、等)

温海地域

- ・各種講座の企画立案と運営（市民大学、国際理解講座、青年講座 等）
- ・少年教室、子ども教室、勉強会等の企画立案と運営（青少年ボランティア養成講座、リーダー研修会 等）
- ・温海文化祭の企画立案と運営

○生涯学習推進員の研修（平成28年10月18日(火) 出羽庄内国際村 国際村ホール）

- ・内容 「よりよい地域づくりにむけた生涯学習推進員のこれからの役割」
- ・講師 廣瀬隆人 氏(北海道教育大学教授)
- ・参加者 生涯学習推進員、広域コミュニティ組織関係職員、市職員など約70名
- ・ワークショップ 8つのグループに分かれ、3つのテーマで話し合いを実施
テーマ①「あなたの長所、強みや魅力はなんですか？」
テーマ②「生涯学習推進員の仕事をしながら、困っていることはなんですか？」
テーマ③「その困りごとを解決するためにはどうしたらよいですか？」